

# 11月臨時会

## 電力・ガス・食料品等価格 高騰緊急支援事業

Q 家計急変世帯の対象を50世帯と見込んでいる根拠は何か。

A 令和3年度の住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の申請は12件、令和4年度は0件であった。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響に限らず、予期せず家計が急変した世帯を含むと要件が緩和されたことから、これまでの実績も踏まえ50世帯と見込んだ。

## 松浦鉄道持続化支援事業

Q これまでも運営費補助となる支援は行わないとの考えではなかったか。今回の支援は、新型コロナウイルス感染症の影響でなく、人口減少などによる利用者の減に伴う減収ではないか。今後は施設に關しても老朽化が進むことも踏まえ、今後の存続も含めて十分協議する必要があるのではないか。

A 乗客数の減少の原因については、正確に把握できていない状況。松浦鉄道の施設整備についても大きな課題と捉えており、コロナ収束後の運営のあり方も含め、沿線自治体や松浦鉄道と協議していきたい。

Q 今後の運営や存続などの方向性を判断するためにも、正確な乗降者数の実態調査を行うべきではないか。

Q 今後も同様の事業は考えているか、また加入促進については、どのような考えか。

## 配合飼料価格高騰対策支援事業

Q 畜産農家への支援にあたり、配合飼料の購入量はどのように算出しているのか。

A 繁殖牛や養豚など畜種ごとの必要量を基に、畜種ごとの飼養頭数を乗じて算出している。

## 沿岸漁業燃油価格安定対策支援事業

Q 漁業に関する国の令和4年度燃油セーフティネット事業(※)への加入者に対する支援とのことだが、漁業者の加入状況は。

A 漁協正組合員のうち、令和3年度の燃油支援対策事業に申請した燃油購入者数が約550件と見込んでいるが、セーフティネット事業への加入は317件となっている。

## 貨物運送事業者燃油価格高騰 対策支援事業

※燃油価格の上昇に備え漁業者と国が資金を積み立て、原油価格が一定水準を超え上昇した場合に補填金が支払われる制度

Q 本事業と同じく11月臨時会に上程された電気・燃油価格高騰対策支援事業(※)は重複して補助対象となるのか。

A 同じ交付金での事業となるため、事業者の実態を把握しながら有利な補助を選択してもらうよう努めたい。※電気および燃油価格が高騰し影響を受けている市内事業者などに対し、光熱費および燃料代の支援を行う事業

# 12月定例会

## 令和4年度平戸市病院事業会計 補正予算(第2号)

Q 「多くの医療器械は各病院の選択による単独購入となっているが共同

購入を行うことで費用の低減化などの推進を図ってもらいたい」旨の定期監査報告が12月定例会においてなされたが、この指摘は合理的である。可能な範囲で推進してほしい。

A 平戸市立病院あり方検討委員会においても、診療材料等の購入費用を統一すべきとの指摘があっているため、前向きに検討を進めている。

## 繰越明許費補正(建設課所管分)

Q 市道整備事業において、測量や用地交渉などに不測の日数を要したため23件が次年度への繰越しとなる見込みとのことだが、例年よりも繰越事業が多いのではないか。職員数が足りていないのでは。

A 新規路線が7路線と例年より多く、測量や用地交渉などに時間を要するためである。職員については、採用募集をしても応募者がいないと聞いている。

意見 繰越事業が多くなるのが続くようであれば、事業推進に支障をきたすため、人材確保を含め努力してもらいたい。

## 持続可能型流通商社構築事業

Q 東京有楽町の東京交通会館内、

飲食型アンテナショップについて、現在昼のみの営業となっているが、次年度の運営受託者公募に際しては、従来の昼に加え、夜の営業も必須とするのか。また店舗スペースが5坪となっているが、調理スペースも狭いことでハンデとなり売上を伸ばすことが難しいのではないか。

A 平戸の食材を使った昼・夜の営業を条件として企画提案を募る予定。店舗スペースには限りがあるが、客の回転率を上げたり、夜は地元食材を使った一品料理・地酒などのメニューを考えていけば売上を伸ばすことは可能と考えている。

Q 店舗の場所については現状の東京交通会館にこだわらず、十分な店舗スペースを確保できる場所を探してもよいのではないか。

A 東京交通会館は近くに物産販売の場所があること、JR有楽町駅から地下鉄に繋がる導線でもあるなど立地がよく、その中で事業展開ができることは平戸を宣伝する観点からメリットであると考えているが、事業を実施する中で検証していきたい。

## 農業水路等長寿命化・ 防災減災事業県工事負担金

Q 県が所有する久吹ダムのポンプ

設備更新にかかる設計費用の20%を市が負担することだが、今後の工事予定はどのようになっているか。

A 現在2基あるポンプのうち1基で運用している状況のため、故障している1基を改修して安全稼働を確認した後、現在使用中のポンプも改修を行い、令和8年度に完了を予定している。

Q 高齢化や後継者不足、耕作放棄地問題もある中、どのようにこの施設を有効利用して農業振興を図っていく考えか。

A 安定した農業用水の確保ができることは農業において非常に魅力的であるため、新規就農者も含めて本施設を有効に利用してもらいたい。

## 指定管理者の指定について (あづち大島いさりびの里)

Q 大島地区にとって大事なこの施設を今後も維持していくため、さらなる誘客増に向けた取り組みが必要だと思いが、何らかの取組みは考えているか。

A 令和5年度にホームページのリニューアルを検討中。また季節ごとの企画や、まちづくり協議会・観光協会などと連携したイベントも計画している。

# 常任委員会 レポート

# 物価高騰に対する支援や 持続可能型流通商社構築事業 などを議論



委員長報告全文は  
こちらをご覧ください。



11月臨時会



12月定例会

厚生委員会  
委員長 松本 正治  
副委員長 針田 直美  
委員 吉住 威三  
山内 貴史  
山内 政夫  
山内 俊郎  
山内 龍三  
山内 貴史  
山内 政夫

産業建設文教委員会  
委員長 井元 宏三  
副委員長 吉福 弘良  
委員 綾香 浩治  
池田 聡  
池田 松尾  
大村 謙吾  
大村 松口  
近藤 芳人  
近藤 芳人